

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	京都外国語大学
設置者名	学校法人 京都外国語大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門 科目	合計		
外国語学部	英米語学科	夜・通信			-	80	13	
	スペイン語学科	夜・通信			-	80	13	
	フランス語学科	夜・通信			-	80	13	
	ドイツ語学科	夜・通信			-	80	13	
	ブラジルポルトガル語学科	夜・通信			-	80	13	
	中国語学科	夜・通信			-	80	13	
	日本語学科	夜・通信			-	80	13	
	イタリア語学科	夜・通信			-	80	13	
	国際教養学科	夜・通信			-	80	13	
	ロシア語学科	夜・通信			-	80	13	
国際貢献学部	グローバルスタディーズ学科	夜・通信		46	-	46	13	
	グローバル観光学科	夜・通信			-	46	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学のホームページに公表している。

[https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/teacher\\_unv.pdf?210615](https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/teacher_unv.pdf?210615)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	京都外国語大学
設置者名	学校法人 京都外国語大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学のホームページに公表している。  
<https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/officer.pdf?210610>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	財団法人理事（前職）	2020年4月 3日～2024 年3月31日	国際交流
非常勤	弁護士（現職）	2020年4月 1日～2024 年3月31日	コンプライアンス
非常勤	株式会社顧問（前職）	2020年4月 1日～2024 年3月31日	渉外
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	京都外国語大学
設置者名	学校法人 京都外国語大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)                  教員へのシラバス依頼時(前年の12月)にマニュアル「シラバス作成要領」(添付資料参照)を配布し、シラバスの要領を周知徹底している。また、シラバス点検実施委員会において各教員のシラバスの内容を2月中旬～3月上旬に点検し、マニュアル通りに作成されていない場合は、作成し直したうえで3月下旬にWeb上に公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>Web シラバスとして本学のホームページに公表している。  <a href="http://kyomu2.kufs.ac.jp/syllabus/index">http://kyomu2.kufs.ac.jp/syllabus/index</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスで記載した評価方法に基づいて厳正かつ公正に評価するよう、「評価の方法」、「成績評価の基準および評価点等」について、全教員に配布する「出講手帳」に記載し、周知徹底している。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価においてG P A制度を導入し、算出方法は以下の通り。</p> <p>A<sup>+</sup> (100-90) : 4ポイント    A (89-80) : 3ポイント    B (79-70) : 2ポイント  C (69-60) : 1ポイント    D (59-0) : 0ポイント    F : 失格</p> $\frac{(A \text{ 科目の成績ポイント} \times \text{単位数}) + (B \text{ 科目の成績ポイント} \times \text{単位数}) + \dots}{\text{総登録単位数}}$ <p>また、G P Aは学期毎の履修登録単位数の制限、授業科目の受講制限、退学勧告時の基準や学内奨学金選考時の基準等、適切に活用している。また、成績の分布状況を学期毎に把握し、特に習熟度別にクラス分けを行っている授業科目の評価に活用している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生に配布する学生便覧及び授業科目担当者に配布する出講手帳で公表している。</p> <p><a href="http://www.kufs.ac.jp/universitylife/pdf/handbook2021_03.pdf">http://www.kufs.ac.jp/universitylife/pdf/handbook2021_03.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

**【外国語学部】**

学科毎の目標に基づき、4年の修業年限の中で各年次の進級基準を満たし、卒業に必要な単位を修得した場合に学位を授与するという方針のもと、毎年度進級判定を行い所定の単位数を修得できない場合は学年進行できない中で、適切に卒業認定を行っている。

**【国際貢献学部】**

学科毎の目標に基づき、4年の修業年限の中で卒業に必要な単位を修得した場合に学位を授与するという方針のもと、入学後4学期間で所定の単位数を修得できない場合は、学則及び履修規程に基づき除籍とする中で、適切に卒業認定を行う。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

学生に配布する学生便覧及び本学のホームページに公表している。

[http://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv\\_mission.html#\\_01](http://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_mission.html#_01) (外国語学部)

[http://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv\\_ge\\_mission.html#\\_01](http://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_ge_mission.html#_01) (国際貢献学部)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	京都外国語大学
設置者名	学校法人 京都外国語大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/2020finance.pdf">https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/2020finance.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/2020finance.pdf">https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/2020finance.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/2020inventory.pdf">https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/2020inventory.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/2020report.pdf">https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/2020report.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/2020audit.pdf">https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/2020audit.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2021年度事業計画書 対象年度:2021年度)
公表方法: <a href="https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/2021plan.pdf">https://www.kufs.ac.jp/foundation/pdf/2021plan.pdf</a>
中長期計画(名称:第2期5ヵ年計画 対象年度:2018~2022年度)
公表方法: <a href="https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/pdf/5year_2018.pdf">https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/pdf/5year_2018.pdf</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.kufs.ac.jp/about/evaluation/pdf/tenken_2016.pdf">https://www.kufs.ac.jp/about/evaluation/pdf/tenken_2016.pdf</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://www.kufs.ac.jp/about/evaluation/pdf/sougo_2016.pdf">https://www.kufs.ac.jp/about/evaluation/pdf/sougo_2016.pdf</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

① 教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 外国語学部
教育研究上の目的（公表方法：本学のホームページに公表している。 <a href="https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_mission.html">https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_mission.html</a> ）
（概要） 京都外国語大学の建学の精神は「PAX（パックス） MUNDI（ムンディ） PER（ペル） LINGUAS（リングアス） - 言語を通して世界の平和を -」である。 この精神に基づき、世界平和に貢献することを目的として、本学は外国語及び国際社会と地域文化に関する教育研究を行っている。 本学の教育の理念は「国際社会の平和に貢献し、次世代を担うことのできる『人間力』豊かなリーダーの養成」である。本学が求める「人間力」とは、「国際社会の一員としての責任を自覚し、教養豊かな魅力ある人間として力強く生きていくための総合的な力」のことである。 この教育理念を達成するための具体的な教育目標は、 1. 確かな日本語力と実践的な外国語運用力 2. 社会性、対人関係性の向上に資するコミュニケーション力 3. 日本及び外国の文化の理解に基づく多文化共生実現力の 3 つの力を備えた人材を育成することである。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学のホームページに公表している。 <a href="https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_mission.html#_01">https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_mission.html#_01</a> ）
（概要） 外国語学部は専攻する外国語の学修をとおして、高度な語学力、地域や文化についての専門的知識及び国際社会で活躍するにふさわしい高い見識並びに豊かな教養を身につけ、世界の平和に貢献する人材を育成することを目的としている。 その実現のために、3 つの能力（①構想するために必要な力、②実践するために必要な力、③協働するために必要な力）を修得し、世界が地球規模で抱える諸問題に向き合い、協働して解決を模索し、問題を解決に導くことができる人材を養成することを教育目標としている。 また、学科ごとの目標を設定し、4 年の修業年限の中で、各年次で設定する進級基準を満たし、卒業に必要な単位を修得し、卒業研究または卒業論文に対して合格が認められた場合に学士（文学）の学位を与える。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学のホームページに公表している。 <a href="https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_mission.html#_02">https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_mission.html#_02</a> ）
（概要） 外国語学部では、卒業認定・学位授与のために、導入教育科目及び専門教育科目に加えて、必要とする科目を体系的に編成し、科目に応じて授業形態を講義、演習、実習に分けている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学のホームページに公表している。 <a href="https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_mission.html#_03">https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_mission.html#_03</a> ）
（概要） 本学の教育の目的・理念・目標を理解し、国際社会で十分に通用する実践的な外国語運用力を身につけるとともに、専攻語圏及び自国の文化・歴史・政治・経済などに関する専門知識、そして、外国語運用力を活かすための幅広い知識と豊かな教養を身につけ、国際社会に貢献したいという意思のある次のような学生を広く国内外から求める。



<p>求める学生像</p> <p>①グローバル化する社会において、言語を通して世界の平和に貢献しようとする人</p> <p>②実践的な外国語運用力の修得に意欲を持っている人</p> <p>③自国を含め諸外国の文化に興味や関心を持っている人</p> <p>④外国語を学ぶ上での適性と基礎学力を有する人</p>
---

学部等名 国際貢献学部
-------------

<p>教育研究上の目的（公表方法：本学のホームページに公表している。  <a href="https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_ge_mission.html">https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_ge_mission.html</a>）</p>
--

<p>（概要）</p> <p>京都外国語大学の建学の精神は「PAX（パックス） MUNDI（ムンディ） PER（ペル） LINGUAS（リングアス） - 言語を通して世界の平和を -」である。</p> <p>この精神に基づき、世界平和に貢献することを目的として、本学は外国語及び国際社会と地域文化に関する教育研究を行っている。</p> <p>本学の教育の理念は「国際社会の平和に貢献し、次世代を担うことのできる『人間力』豊かなリーダーの養成」である。本学が求める「人間力」とは、「国際社会の一員としての責任を自覚し、教養豊かな魅力ある人間として力強く生きていくための総合的な力」のことである。</p> <p>この教育理念を達成するための具体的な教育目標は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 確かな日本語力と実践的な外国語運用力</li> <li>2. 社会性、対人関係性の向上に資するコミュニケーション力</li> <li>3. 日本及び外国の文化の理解に基づく多文化共生実現力の3つの力を備えた人材を育成することである。</li> </ol>
--

<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学のホームページに公表している。  <a href="https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_ge_mission.html#_01">https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_ge_mission.html#_01</a>）</p>
---

<p>（概要）</p> <p>国際貢献学部は、高度な外国語運用力を身につけ、グローバル社会で活躍するにふさわしい高い見識、幅広い視野並びに長期的な洞察に基づいて意思決定と行動ができる能力を身につけ、世界の平和に貢献できる人材を育成することを目的としている。</p> <p>その実現のために、世界で起きている事象を国民国家の枠組みを超えたグローバルな視点から捉え、「学問知」と「経験知」を総合した能力を修得して社会や組織の課題を解決し、人類共通の利益に資する諸変化をもたらすことができる人材を養成することを教育目標としている。</p> <p>4年の修業年限の中で、卒業に必要な単位を修得し、学科ごとに設定する能力を身につけた学生にグローバルスタディーズ学科は学士（国際学）、グローバル観光学科は学士（グローバル観光学）の学位を与える。</p>
--

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学のホームページに公表している。  <a href="https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_ge_mission.html#_02">https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_ge_mission.html#_02</a>）</p>
---

<p>（概要）</p> <p>国際貢献学部では、卒業認定・学位授与のために、専門科目に加えて必要とする科目を体系的に編成し、科目に応じて授業形態を講義、演習、実習に大別している。</p>
---

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学のホームページに公表している。  <a href="https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_ge_mission.html#_03">https://www.kufs.ac.jp/about/kufs/unv_ge_mission.html#_03</a>）</p>
---

(概要)

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めている。

グローバルスタディーズ学科

求める学生像

- ①英語をはじめとする外国語の高い能力を有し、さらにその能力の向上をめざす人
- ②何事にも主体的に取り組み、考え、判断し、行動しようとする人
- ③外国語のコミュニケーション能力を駆使して、積極的に国際理解を推進しようとする人
- ④国際社会のさまざまな諸問題に興味や関心を持ち、国際協力に従事したいと考えている人
- ⑤国際ビジネスの専門的知識を身につけて、国際社会で活躍したいと考えている人

グローバル観光学科

求める学生像

- ①何事にも主体的に、積極的に取り組む意思のある人
- ②自国を含め諸外国の文化に興味や関心を持っている人
- ③観光を通して異文化や自文化を理解するとともに、実践的な外国語のコミュニケーション能力を養うことによって、国内外のグローバルな環境で活躍したい人
- ④観光を通して地域の活性化に貢献したい人
- ⑤国際観光文化都市・京都をはじめ国内外の観光資源に興味を持ち、観光政策を立案・実践したい人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学のホームページに公表している。

<https://www.kufs.ac.jp/faculties/index.html>

<https://www.kufs.ac.jp/foundation/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
外国語学部	—	51人	24人	22人	—	—	97人
国際貢献学部	—	13人	7人	2人	—	—	22人
その他（別科・ランゲージ）	—	0人	0人	5人	—	—	5人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				412人			412人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="https://gyouseki.kufs.ac.jp/kufshp/KgApp">https://gyouseki.kufs.ac.jp/kufshp/KgApp</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
毎年度、夏季（9月）及び冬季（2月）にFD研修を実施している。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、夏季、冬季FDは開催せず、5月、2021年1月に「オンライン分科会」を開催した。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
外国語学部	720人	809人	112.4%	3,020人	3,563人	118%	70人	83人
国際貢献学部	220人	240人	109.1%	940人	934人	99.4%	30人	2人
合計	940人	1,049人	111.6%	3,960人	4,497人	113.6%	100人	85人
(備考) ※ 編入学者数は、定員を設定している3年次編入学の人数を記載。								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
外国語学部	973人 (100%)	19人 ( 2.0%)	794人 ( 81.6%)	160人 ( 16.4%)
合計	973人 (100%)	19人 ( 2.0%)	794人 ( 81.6%)	160人 ( 16.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進学：京都外国語大学大学院、京都大学大学院、東京外国語大学大学院				
就職：日本電産、タマノイ酢、旭コンクリート、ジェイアール西日本伊勢丹、セブン-イレブン・ジャパン、日本マクドナルド、九州旅客鉄道、センコー、京都ホテル、星野リゾート・マネジメント、自衛隊兵庫地方協力本部、京都府警察本部				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
外国語学部	1,000人 (100%)	725人 (72.5%)	151人 (15.1%)	124人 (12.4%)	0人 (0%)
合計	1,000人 (100%)	725人 (72.5%)	175人 (15.1%)	137人 (12.4%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 教員へのシラバス依頼時（前年の12月）に詳細なマニュアル（添付資料参照）を配布し、シラバスの作成要領を周知徹底している。また、シラバス点検実施委員会において各教員のシラバスの内容を2月中旬～3月上旬に点検し、マニュアル通りに作成されていない場合は、作成し直したうえで3月下旬にWeb上に公表している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) シラバスで記載した評価方法に基づいて厳正かつ公正に評価するよう、「評価の方法」、「成績評価の基準および評価点等」について、全教員に配布する「出講手帳」に記載し、周知徹底している。  卒業認定方針は、以下の通り。 【外国語学部】 学科毎の目標に基づき、4年の修業年限の中で各年次の進級基準を満たし、卒業に必要な単位を修得した場合に学位を授与するという方針のもと、毎年度進級判定を行い所定の単位数を修得できない場合は学年進行できない中で、適切に卒業認定を行っている。 【国際貢献学部】 学科毎の目標に基づき、4年の修業年限の中で卒業に必要な単位を修得した場合に学位を授与するという方針のもと、入学後4学期間で所定の単位数を修得できない場合は、学則及び履修規程に基づき除籍とする中で、適切に卒業認定を行う。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
外国語学部	英米語学科	124単位	有	学期毎22単位
	スペイン語学科	124単位	有	学期毎22単位
	フランス語学科	124単位	有	学期毎22単位
	ドイツ語学科	124単位	有	学期毎22単位
	ブラジルポルトガル語学科	124単位	有	学期毎22単位
	中国語学科	124単位	有	学期毎22単位
	日本語学科	124単位	有	学期毎22単位
	イタリア語学科	124単位	有	学期毎22単位
	国際教養学科	124単位	有	学期毎22単位

	ロシア語学科	124 単位	有	学期毎 22 単位
国際貢献学部	グローバルスタ ディーズ学科	124 単位	有	学期毎 26 単位
	グローバル観光学 科	124 単位	有	学期毎 26 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		https://		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		https://		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学のホームページに公表している。

[https://www.kufs.ac.jp/public\\_information.html#anchor-02](https://www.kufs.ac.jp/public_information.html#anchor-02)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
外国語学部 (入学年度)	全学科	795,000 円	230,000 円	415,000 円	教育充実費
外国語学部 (2年次)	全学科	795,000 円	—	415,000 円	教育充実費
外国語学部 (3年次)	全学科	795,000 円	—	415,000 円	教育充実費
外国語学部 (卒業年度)	全学科	775,000 円	—	425,000 円	教育充実費・学園振興協力費
国際貢献学部 (入学年度)	全学科	795,000 円	230,000 円	415,000 円	教育充実費
国際貢献学部 (2年次)	全学科	865,000 円	—	415,000 円	教育充実費
国際貢献学部 (3年次)	全学科	865,000 円	—	415,000 円	教育充実費
国際貢献学部 (卒業年度)	全学科	845,000 円	—	425,000 円	教育充実費・学園振興協力費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学には、アカデミック・アドバイザー制度があり、この制度により、教員を身近に感じ、気軽に相談できる存在であることを知ってもらい、修学上の疑問や学生生活の中で生じる様々な問題について質問や相談に応じられるようにしている。</p> <p>特に、1年次生は大学生活の仲間入りをする大切な出発点、また2年次生は1年次に修得した学びの基礎を大学生活の総仕上げに向けてどのように展開していくかという重要な時期にあたり、このような大切な時期に、問題を一人で抱え込んだり未解決のままにしないよう、良き相談相手となり、大学生活が有意義になるよう手助けをしている。</p> <p>アカデミック・アドバイザーは、原則として、1・2年次生は必修科目を担当する専任教員、3・4年次生はゼミ科目を担当する専任教員が務め、学生からの相談等に応じる「オフィスアワー」を設けている。</p> <p>その他、各奨学金制度を整備している。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>1・2年次生には自己発見をテーマに早い時期から未来の自分に向けての意識づくりを行い、3年次生には、具体的な就職活動を視野に入れたガイダンスを行っている。</p> <p>国内外におけるインターンシップ、フィールドワークでの経験を通して、グローバルな職業観を養っている。エアラインスタディプログラムなど、業界に特化したインターンシッププログラムも実施。</p> <p>多様な採用選考に備えた種々の就職試験対策講座を、おおむね無料で提供している。</p> <p>専任のキャリアコンサルタント（国家資格）による、学生個々のニーズに応じたきめ細かい指導体制を構築している。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>健康サポートセンターのもとに保健室・学生相談室・障がい学生支援室を設置。それぞれの室が連携し、学生の心身の健康等について支援を行っている。</p> <p>保健室では、定期健康診断、ケガの応急処置、健康診断証明書の発行を行うほか、医療に関するさまざまな情報を提供しているほか、健康チェックに役立つ検査器具も完備し、学校医や看護職員が、学生一人ひとりに合った健康相談のサポートを行っている。</p> <p>学生相談室では、専門のカウンセラーが常駐し、対人関係から学業・将来への不安まで、守秘義務を遵守しながら幅広く相談に応じている。また、学校医（精神科医）による健康相談では、心や身体の不調や医療機関受診について相談が可能になっている。</p> <p>障がい学生支援室では、配慮が必要な障がいのある学生への支援を学生本人の主体性を尊重しながら組み立て、専門のコーディネーターが、肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・発達障がい等の学生に対応している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学のホームページに公表している。

[https://www.kufs.ac.jp/public\\_information.html#anchor-01](https://www.kufs.ac.jp/public_information.html#anchor-01)

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F126310107494
学校名	京都外国語大学
設置者名	学校法人京都外国語大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		359人	338人	375人
内 訳	第Ⅰ区分	218人	213人	
	第Ⅱ区分	81人	78人	
	第Ⅲ区分	60人	47人	
家計急変による支援対象者（年間）				16人
合計（年間）				391人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数



	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	-		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	-		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	-	前半期		後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	55人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	55人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。